



©2015 Google, ZENRIN

コース説明

西鉄都府楼前駅を出発し大宰府政庁跡方面へ歩く。塀や門が昔ながらの小学校を過ぎ、水路沿いをまっすぐ進む。九州自然歩道は政庁跡の手前で左に曲がる道を示しているが、せっかくなので、政庁跡の真ん中を通れば、政庁の面影を残した広場をみられる。広場を過ぎ、再びコースに戻りその後四王寺山の方面へ登っていき、途中から登山道に入る。四王寺山は、昔は山城として使われており多くの歴史・文化が残されている。ところどころ眺望が良いところに出るのも楽しみの一つ。県民の森付近を通り、水瓶山の東側を通って太宰府天満宮裏側に出る。そして本宮へ入り、参道を抜けて西鉄太宰府駅へ着く。

起点: 西鉄都府楼前駅

駅から大宰府政庁跡までは九州自然歩道ではないが、歩きやすい道である。

終点: 西鉄太宰府駅

都府楼駅までは、15分程で着く。

おすすめポイント

- **太宰府政庁跡**
都府楼跡の名前で親しまれ、九州全体を治める役所大宰府があった所。現在は市民の憩いの場となっている。
- **四王寺山 (標高410m)**
古代山城として基山と対になる存在。山中には多くの歴史・文化を垣間見られ、感じられる。